

OCEANIA CRUISES®

オーシャニアクルーズが 2025年仏領ポリネシアとハワイへのクルーズを発表

夢のポリネシアから伝説のハワイまで、遠く離れた島を探訪してグルメを堪能



仏領ポリネシア、ボラボラ

東京 2023年9月29日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャニアクルーズ](#)が、乗客670名の小型クルーズ船レガッタで行く、2025年夏の仏領ポリネシアとハワイを巡る異国情緒あふれる7クルーズを発表しました。予約開始は2023年10月4日。オーシャニアクルーズの船旅は文化的出会い、思い出に残るアドベンチャー、美しい自然の理想郷ともいえるこれらの寄港地を訪れる最良の方法です。

新クルーズは、仏領ポリネシアとハワイがたっぷりの日差しに恵まれ、心地よい気温で湿気も少ない、まさに理想的な時期の8月、9月、10月に催行されます。旅程ではボラボラの青い礁湖、タヒチの黒砂ビーチ、ライアテアの色とりどりのサンゴ礁、ヌクヒバのうっそうとしたジャングルを従えた山々などを訪れます。7クルーズのうち4クルーズは仏領ポリネシアからハワイ列島の魅惑的な火口、劇的な峡谷、滔々と流れ落ちる滝へと続きます。オーシャニアクルーズの没入感ある旅程では、これらの島のパラダイスを直接体験でき、先住民のポリネシア文化の伝統に触れ、その土地ならではの鮮度抜群の食を堪能し、地域のコミュニティやその周辺の大自然を満喫できます。

OCEANIA CRUISES®

オーシャニアクルーズ社長フランク・A・デル・リオ は、「オーシャニアクルーズでは、仏領ポリネシアとハワイで魅力的な船旅をご用意しています。あまり知られていない海岸線を巡ったり小規模港や人里離れた島々に寄港したり等は、私共の豪華小型客船ならではの魅力です。今回ご紹介するクルーズで特筆すべきは食事です。ボラボラやヌクヒバ、またはナウイリウイリやヒロであれ、こうした島々の味覚を、まさに壮大な景色と同じように、大いに味わい、楽しんでいただけます」と語ります。

7クルーズの日程は 10 泊から 18 泊で。出航地はタヒチまたはホノルル。世界屈指の素晴らしい地域での探訪や冒険、くつろぎの時間がたっぷりとられています。遠く離れた島と感じられるタヒチの玄関口パペーテまでは東京から直行便で約 11 時間。同様にホノルルまでは直行便で東京から約 6 時間半で到着です。

2025 年夏のクルーズ

Polynesian Dreams: *レガッタでホノルル発パペーテまでの 15 泊*。寄港地はホノルル、ナウイリウイリ、ライナ、カイルアコナ、ヒロ、ヌクヒバ、ランギロア、ライアテア、ボラボラ、パペーテ。2025 年 8 月 1 日発と旅程を逆にたどる 9 月 15 日発。

Tahitian Legends: *レガッタでパペーテ発着の 10 泊*。寄港地はパペーテ、モーレア、ファカラヴァ、ヌクヒバ、ランギロア、ボラボラ、ライアテア。2025 年 8 月 16 日と 26 日、9 月 5 日発。

Divine Pacific Oases: *レガッタでホノルルからパペーテまでの 15 泊*。寄港地はホノルル、ナウイリウイリ、カフルイ、カイルアコナ、ヒロ、ヌクヒバ、ランギロア、ライアテア、ボラボラ、パペーテ。2025 年 9 月 30 日発。

Song of Polynesia: *レガッタでパペーテからロサンゼルスまでの 18 泊*。寄港地はパペーテ、モーレア、ランギロア、ヌクヒバ、ヒロ、ライナ、ホノルル、ナウイリウイリ、ロサンゼルス。2025 年 10 月 15 日発。

レガッタの船上ハイライト

乗客数 670 名のレガッタは、南太平洋らしさを打ち出してデザインされた旅程でこの地域を探検するという、小型船ならではの体験を提供します。わずか 340 室の贅をつくしたスイートルームと豪華なステートルームを備え、その 70%近くが専用ベランダ付きで、ゲストは究極の豪華小型客船のラグジュアリーを堪能できます。最上階のライブラリーの数百冊もの本からお気に入りの 1 冊に没頭し、アクアマールスパ + バイタリティセンターでリラックスしながら活力を取り戻し、8 か所のラウンジやバーで他の乗客と交流し、4 か所ある座席指定のないグルメレストランでのディナーの後はショーを観たりカジノで夜を過ごしたりも。

OCEANIA CRUISES®

仏領ポリネシアとハワイを食べつくす

訪れた島の文化を掘り下げる最良の方法は食体験です。仏領ポリネシアとハワイではグルメ垂涎の島の味覚が目白押しです。

ぜひ試したいポワツソクリュはセビーチェの仏領ポリネシア版。地元の刺身をココナッツミルクとライム果汁でマリネしたもので、野菜が加えられることも。地元レストランのメニューの定番料理なので、地上観光で味わうチャンスは何度もあります。

ボラボラの「ブラッディマリーズ」ではマヒマヒバーガーとマイタイが絶対のお勧めです。砂の床と藁屋根のこのレストランにはジミー・バフェット、ローリングストーンズのロン・ウッド、銀幕スターカップルのゴールディ・ホーンとカート・ラッセルなども訪れています。忘れられない体験になるはず。

絶対に見逃せないパンの木はタヒチの言葉でウル。実のでんぷんは万能。まさに仏領ポリネシアならではの食材で、数え切れないほどの料理となって食卓を賑わします。ヌクヒバにはこれを炭火で焼いてココナッツミルクと一緒に潰してつくるカカと呼ばれる定番料理があります。

ハワイで絶対試したいのはポケ。刺身丼ともいえるもので鮮度の良い魚本来の味が活かされています。様々なバリエーションがある中で特に人気なのがアヒポケやタコポケ。ご当地生まれの味は現地で食するのが一番です。

ハワイ伝統のディナー「ルアウ」で味わえるのがカルアポーク。どの島でも供されます。地面に掘ったイムと呼ばれる穴に豚肉をいれてじっくりとローストし、地元の家塩で味付けしたもの。燻煙が香るジューシーな肉は通常はライスとキャベツ炒めやコールスローと供されます。

寄港地ハイライト

仏領ポリネシアのボラボラは、いずれも高さ 600 メートルを超えるオテマヌとパヒア両峰に象徴されるもっとも写真映えのする島。エメラルドグリーンに覆われた島は、息をのむようなターコイズブルーの海面がきらめく礁湖に劇的な背景をもたらしています。海の下、島を取り囲む岩礁では南の海の魚たちやカメが虹色の世界を生み出しています。まばゆいばかりの礁湖を探検したり、島内をガイド付きで道なき道を行く冒険に出かけたり、快適なガラス底の船からサメやエイを見たりなども。

タヒチ島のパペーテは仏領ポリネシアの首都。澄んだ青い水、ゆれるヤシの木、温暖な気候と豊かな島文化の地です。様々なタイプのレストランやショッピングを楽しめます。特産品は木製手彫りの精巧な置物やボウル類や、何世代にもわたって受け継がれることの多いティファイファイと呼ばれる色とりどりの

OCEANIA CRUISES®

パッチワークキルト。体を動かしたいなら、135メートルとタヒチで一番高い落差のファウタウアの滝まで数キロのハイキングも。ロバート・ワン真珠博物館で真珠が放つ虹色と光沢について見識を深めたり、才能ある世界中のアーティストが描いた色とりどりのストリートアートや壁画を見ながらの徒歩ツアーなども。

ハワイのヒロはビッグアイランドの東側にあり、その緑豊かな環境で知られています。ユネスコの世界遺産に登録されているハワイ火山国立公園は、2018年にハワイの火と火山の女神ペレが目覚めて景色が一変しました。怖いもの好きであれば、キラウエア火山のヘリコプター遊覧や、川の渓谷でジップラインなどを。手軽に楽しめるのは、岩の海岸線に沿う黒砂ビーチのリチャードソンオーシャンパークや色とりどりの果物や野菜、花が並ぶファーマーズマーケットなど。

ハワイ島のカイルアコナはのんびりとした雰囲気のある町。国立公園を散策したり、海で泳いだりシュノーケリングを楽しんだり、海を見渡せる3つのコースでゴルフをプレーしたりと、楽しみ方は無数にあります。マウンテンサンダーコーヒー農園ではさまざまな豆や焙煎のことを知り、香り高いひき立てのコーヒーを試飲できます。マジックサンズビーチは、ターコイズブルーの海と白砂が美しいビーチ。その名は、何度も襲った大きな嵐で砂がすべて海に流され、露出した岩場に海の手で砂浜が長い時間をかけて再生されたことに由来しています。

シンプルモア

オーシャンクルーズの「シンプルモア」は、充実の寄港地観光クレジットや、数十種のビンテージシャンパン、特選ワイン、世界のビールなどが船上のレストランのランチとディナーで楽しめる飲み物パッケージなど、クルーズ中に活用できる様々なサービスがクルーズ料金に含まれるというもの。乗客体験をさらに上質のものとするシンプルモアはラグジュアリーなクルーズにおける最上の価値を提供します。オーシャンクルーズの豪華な小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャンクルーズについて

オーシャンクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員1,250名、全8隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7大陸100か国以上の600を超える主要港から小さな港までを7日から200日余りをかけて巡ります。オーシャンクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は www.nclhltd.com

画像提供はオーシャンクルーズ

【発行元】オーシャンクルーズ PR 株式会社フレア